

事業名称：クリスマス・プレイベント「光のつどい」開催事業
 団体名：和田山地区地域自治協議会

地域活動応援事業 実績報告書

1 事業内容

日時 令和7年12月6日(土) 午後4時～同6時30分

場所 朝来市防災センター 駐車場

内容 朝来市防災センターの敷地内に9基のペットボトルツリーを設置し、加えてイルミネーションによるメッセージの制作や建物への飾り付けを行った。

イベント当日は、「イルミネーション点灯式」や屋外で大鍋、ヤキイモ、綿菓子、ポップコーンを無料で提供するバザーの実施、加えて子供や大人のグループによるダンス、オペラ歌謡、及びギターや、オカリナ、トーンチャイムの演奏などのパフォーマンスによるイベント「光のつどい」を実施した。

今年度のテーマを「多文化共生」とし、市内に在住する外国人等にも協力いただき、4か国の食の試食コーナーを設けたほか、「地球クイズ」と題して、国際事情や在留外国人に関する問題を出して回答いただく機会を設けた。

当日は、12月初頭の寒い夜となったが、和田山自治協やその構成団体、地元有志による係員約70名の方々にお世話いただき、約400名の親子連れを中心とした地区住民が集い、賑やかに開催できた。

【事業経過】

月日	実施内容	場所	参加人数
R7 7/10	・イベントの企画、計画づくり	朝来市防災センター 会議室	係員:9名
10/27	・イベントの詳細な打ち合わせ	同上	係員:15名
11/21	・イルミネーション(一部:メッセージ)の設置	朝来市防災センター 玄関付近	係員:20名
11/25	・イベントの詳細な打ち合わせ	同上	係員:18名
12/6	・イルミネーション、ペットボトルツリーの設置 ・「光のつどい」の準備、開催	朝来市防災センター 駐車場	係員:約70名 参加者: 約400名
R8 1/6	・イルミネーション全体の片付け・反省会	同上	係員:19名

【出演者 (光のつどい)】

出演者名 (グループ名)	出演内容	人数	活動地域
フォーカスダンス・スタジオ	ヒップホップダンス	50	但馬全域
トーンチャイム・ソレイユ	トーンチャイム演奏	7	朝来市内
オペラ陽子と愉快的仲間たち	オペラ歌謡、大正琴・オカリナ伴奏・ギター演奏	4	朝来市内
わ〜とろっしゃ	ナツメロ・ダンス	6	但馬全域
ハピネス	ダンス	10	但馬全域

【出店者 (光のつどい)】

出店者名 (グループ名)	出店内容	人数	活動地域 (国)
和田山自治協「和づくり・出会い部会」	大鍋	5	和田山地区内
和田山自治協「和づくり・出会い部会」	焼き芋	3	和田山地区内

和田山えがおチャレンジ・サポーターチーム	綿菓子	4	和田山地区内
・和田山えがおチャレンジ・サポーターチーム	ポップコーン	4	和田山地区内
ネル・レハン	ミルクタルト	1	南アフリカ共和国
ボコブザ・ローラ	キャットルカール、クレープ、シュケット	2	フランス
ナカムラ・リゼル	チョリソ	1	フィリピン
マガキ・エリサ	マルタバ・テロール	2	インドネシア共和国

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

和田山自治協の年間行事の中で最大のイベントとなり、お互い協力し合うことで仲間意識が強まり、地域を活性化していこうという気運が高まった。

特に、若者、中高年によるペットボトルツリーやイルミネーションの設置、イベントの準備、運営などにおいて約70名の多世代が協働及び交流する機会となった。

またパフォーマンスの出演者が約70名、加えて約400名のイベント参加者など多くの方々に集まっていたが、「やって良かった」、「大いに盛り上がった」という意見が多く聞かれ、このイベント実施や地域に対する誇りが生まれた。

(2) 地域への波及

イベントの少ない時期での開催により、暗く、寒い但馬の冬のイメージを払拭でき、地域の活性化、多世代交流の機会ができた。

特に、参加者の多くが親子連れであり、児童や家族にとって冬の楽しみ、思い出作りの一助になった。

また、今回のテーマである「多文化共生」という聞きなれない言葉を前面に出し、市内の日本語教室に通う外国人にも参加を呼び掛けるなど、国や考え、習慣などが違う住民が共に暮らす地域社会の在り方を少しでも感じ取っていただいたように思う。

3 協働の相手方

和田山地区の主だった団体により構成されている当団体であるが、それぞれの役割を果たしていただいた。

特に地元の朝来市立枚田小学校やそのPTA、子供会の代表者などのほか、児童の体験プログラム「和田山えがおチャレンジ」で活動するサポーターの方々にとっては、事前PRや当日の運営に協力がいただけて、イベント内容がスムーズに展開できた。

また地元の国際交流協会の役員、会員の方々にも参加を呼びかけ、新たな国際交流の在り方を示せたと思う。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

地域の団体のつながりを深め、より多くの多様な住民が集まれるような仕組みを検討することが重要であり、市内の外国人、障害者児などにも積極的に参加してもらえるような取組みにするなど、当地区のダイバーシティ化が示現できるようなイベントの役割を向上させていきたい。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

このイベントを通じて、地域の輪がより広がっていくような中身の充実、検討が必要であり、地元企業や事業所等にも理解を得て、協力や参画を呼び掛けていきたい。



R7/11/21 メッセージの制作



R7/12/6 光のつどい 「クイズ」



R7/12/6 光のつどい 「バザー」



R7/12/6 光のつどい 「トーンチャイム演奏」



R7/12/6 光のつどい 「ツリー」



R7/12/6 光のつどい 「ツリー」